

飛躍



今日 12 月 19 日は『**日本人初飛行の日**』です。

1910 年（明治 43 年）のこの日、東京・代々木錬兵場（現：代々木公園）で陸軍軍人の徳川好敏が日本初飛行に成功しました。飛行時間は 4 分、最高高度は 70m、飛行距離は 3000m だったそうです。この記録は、日本における動力機初飛行として公式に認められました。



なお、世界における動力初飛行は、日本初飛行の 7 年前の 1903 年（明治 36 年）12 月 17 日にライト兄弟により達成されました。この日の 4 回の飛行のうち、1 回目は 12 秒、36.5m、4 回目は 59 秒、259.6m の記録を残したそうです。

約 100 年の間に航空技術は目覚ましい進歩を遂げました。現代では音速を大幅に超える飛行機も誕生しています。大変な進歩です。まさしく『**飛躍**』（大きく発展して活躍すること、急速に進歩・向上すること。）しました。

スマートフォンも同様に「飛躍」した機器と言えます。数年前まで予想もしなかったものが、現代社会では普通に使われています。他にも身の回りには多くの「飛躍」した機器がたくさんあります。今後も、空想の世界のものと思われていたものが次々に開発され、私たちの生活がさらに変わることもあり得るでしょう。

技術は飛躍的に進歩していますが、「人間はどうだろうか？」と思います。人は急激には変化しません。一日一日の積み重ねで成長し、人と触れ合うことで成長します。それでも中学校では、行事の時など「**すごく成長した**」と実感することがあります。時折、年に数回ほど、「子ども達の成長＝飛躍」を感じます。

このような飛躍を感じるためにも、学校は今までどおり、日々の積み重ねを大事にしていきたいと思います。

